

今回の訪問先



九州大学

大学院理学研究院 化学部門 触媒有機化学研究室
 徳永 信 教授 村山 美乃 准教授 山本 英治 助教

研究テーマ | Subject of Research

有機化学と固体触媒の融合

研究内容

均一系および不均一系触媒の研究を行なっています。有機分子触媒を用いたエステル不斉加水分解など当研究室のオリジナルの反応を開発しています。また、不均一系触媒として、金やパラジウムなどの金属を担持した触媒を用い、ファインケミカル合成、石油化学、環境、エネルギーなどを対象にした反応開発も行なっています。担持触媒の新規用途として飲料などからの吸着脱硫も行なっており、日本酒や焼酎などの香りの制御を研究しています。さらに、電池の電解液の分解に関する研究や、環境やバルクケミカル合成を志向した硫黄化合物の分解や合成の研究など、有機化学と固体触媒の融合を目指しています。

選定理由

水素、一酸化炭素、酸素などのガスを用いた回分式反応のスクリーニングを効率的に行なうのに、有機合成装置を使用しています。異なる温度条件、反応条件での反応を同時に複数行なうことができ、大変便利です。流通式反応の検討やラボスケールでの固定床流通式反応の開発用にもEYELA製品を使用しています。また、有機合成一般の用途にロータリーエバポレーターや恒温槽を使用しています。

使用して

ユーザーの要望や相談に親切に対応していただいています。特に流通式反応では、ガスの種類、反応や圧力、触媒の二次粒子径などによりさまざまな工夫が必要になりますが、細かい対応や提案が大変ありがたいです。

当社に望むこと

これからも研究者の要望に細かく対応して、日本の基礎研究を支えて欲しいと思います。



使用製品 | DATA

パーソナル有機合成装置
ケミステーション
PPV-5460型

20-21 総合カタログ P.365



カラム型フローリアクター
FFX-1000G型

20-21 総合カタログ P.380



ロータリーエバポレーター
N-1000V-W型

07-08 総合カタログ P.244

